



浦安の子どもたちのために様々な場面で

活躍してくださっている方たちを紹介します。



ミュージック・デリバリー

(公財)うらやす財団



子どもたちに本場の音楽を届けようと、様々なアーティストを送り出す事業を展開している、(公財)うらやす財団の増山さんにお話を伺いました。

Q 増山さんのお仕事の内容を教えてください。

増山 地元の演奏家を発掘して発表する場を提供したり、市民の方々が音楽に触れる機会を作って運営したりしています。言わば、浦安にゆかりのある演奏家と市民の方々と結びつける仕事をしているということになります。

Q ミュージック・デリバリーという事業を始めた経緯を教えてください。

増山 元々は、一般財団法人「地域創造」が実施した「音楽活性化事業」に応募したところから始まったものです。当時その事業で若い演奏家が小学校に派遣され、小学生が音楽に触れる機会を作ることができました。ただ、その事業は期間が決まっていたものだったので、同じようなことを継続的に浦安市でもできないかと考え、うらやす財団が主体となって一事業として取り組むようになりました。そして、この事業を地元の演奏家を派遣して実施できれば、さらに地域の活性化につながるのではと考えました。また、演奏家にとっても、小学生の前で演奏するということは、コン



▲うらやす財団 増山 徳子 さん

サートなどで演奏することとは違い、いかに音楽に興味を持ってもらうかということを考えながら演奏しなければならないので、他の面で成長できる場所もありました。

Q この仕事のやりがいはどこのところですか。

増山 子どもたちの反応や感想をもらうのがとても楽しみです。また、演奏家が目の前で演奏するのを聞くといった、初めての経験をした時の子どもたちの驚きや笑顔などの表情を見るとやってよかったなと感じますね。演奏家にとってもこの経験が自身の表現活動にプラスになっているところを見ると嬉しいと感じます。

Q この仕事をしていて、気を付けていることは何ですか。

増山 「一人の子どもも取り残さない」ということをモットーにやっているの、子どもたちからどのように見えているか、聴こえているかを考えて位置を考

たり、子どもたちの発言をしっかりと拾っているかなどを考えたりしています。

Q この先の展開や計画していることなどはありますか。

増山 ここまで地元の演奏家を育てる事業を続けてきて、感染症についても落ち着きが見られたところなので、市民の方と演奏家をつなげる大きなことができたと思っています。とにかく生の演奏をみなさんに聞いてもらうような場を作りたいと思っています。

Q 最後に、子どもたちや保護者、地域の方々に伝えたいことがあればお願いします。

増山 市民プラザや文化会館では、ミュージック・デリバリーに限らず、音楽や芸術など様々な分野と接する機会を用意しています。いつでもお待ちしておりますのでぜひいらしてください。



▲演奏家の活動をお手伝いする。



事業紹介



本事業では、オーディションで選ばれた浦安にゆかりのある演奏家が派遣されます。また、その演奏家は専門講師の研修を受け、特別なプログラムを作成し子どもたちの

前に立ちます。このような交流の機会をつくることにより、未来の観客を育て、演奏者・市民・ホールの継続的な関係を築いていこうとしています。主に小学4年生から6年生を対象にしており、希望のあった学校に演奏家が派遣され、音楽に触れる授業が展開されます。



◀演奏だけでなく、音楽の知識についても学ぶ。